

発売中
100円

憲法9条を変えて、
「戦争する自衛隊」にして
いいのですか(憲法会議・発行)

副市長らと意見交換

生活と健康を守る会

冷房費も節約、水をかぶってしのぐ

生活と健康を守る会(会長・日隈知重)は1日、生活保護費の引上げなど7項目の要望について、副市長らと意見交換を行いました。会員が生活の実情を訴え、制度の改善を求めました。

矢野美智子・副会長は「いつも暑さで日本一になる日田市で、低所得者のことを考えて夏期手当1千円(月額)を支給してほしい」と要望しました。会員のひとり

全国市長会を通じて、国に働きかける」と答えました。

「窓があるか無いような家に住んだらわかる。今年も多分38度、39度になる。私は、ほとんど冷房を使わない。使えない。生活費が足りない」と実情を訴えました。別の会員は「去年は3回、家の中で熱中症で倒れた。麻痺が出て、救急車を呼ぶことができない」と話しました。

会員のひとりは「いろんな症状が出た時に、主治医に診てもらった。ジェネリックの使用を相談されることなく、処方箋にはジェネリックと書いてある。ジェネリックが嫌だとか、話しをする機会さえない」と説明しました。別の女性も「お医者さんは聞かない」と訴えました。日隈会長は「ジェネリックを使うかどうかは、本人の自由意志による。生活保護を受けている人は、ジェネリックを使うのが当然という考え方がある」と改善を求めました。

副市長は「国が制度を作らないと、地方の市町村は財政的に厳しい。これは、国の責任ではないか。

大塚副市長(写真左)と日隈会長ら生活と健康を守る会(写真手前)



一般質問が始まる

6月定例市議会

14日、15日の2日間、11名が質問

日隈市議は、新清掃センターの建設計画や子どもの貧困など3項目について質問します(14日)。大谷市議は、国民健康保険税の負担軽減や学校給食費の無償化など3項目の質問を行います(15日)。

6月議会の一般質問は、14日、15日の2日間で11名の市議が質問に立ちます。

14日は6名で、中野市議(新世ひた)が人口減少問題など、安達市議(市政クラブ)が公共交通など、三苦市議(新世ひた)が住民自治組織の設置など、坂本市議(公明党)が持続可能な日田市の構築など、居川市議(新世ひた)が永山城跡修復工事の不適切処理など、最後に日隈市議(日本共産党)が質問します。

15日は5名で、井上市議(市民クラブ)が市職員の任用など、森山市議(市政クラブ)が里道と水路の管理など、梅原市議(市政クラブ)がAED(自動体外除細動器)の状況など、高倉市議(市政クラブ)がガバナンスの強化など、最後に大谷市議(日本共産党)が質問します。

6月議会は、一般質問、議案質疑とは別に、議員間討論の時間を設けます(19日)。安達市議が若者政策、日隈市議が新清掃センター計画の検証を提案し、議員全員で議論します。

日本共産党 創立96周年

演説会におこしくください

井土 衆議院議員

田村 貴 昭

7月15日(日)

午後1時30分開会